

4mini 5時間耐久 にご参加の皆様へ

# 2018 耐久茶屋～4miniの宴～千秋楽



× 筑波ロードレース選手権シリーズ第3戦

## 公式通知 No. 2-2

※公式通知No.2は、スプリントクラスにご参加の皆様を対象に発行されています。

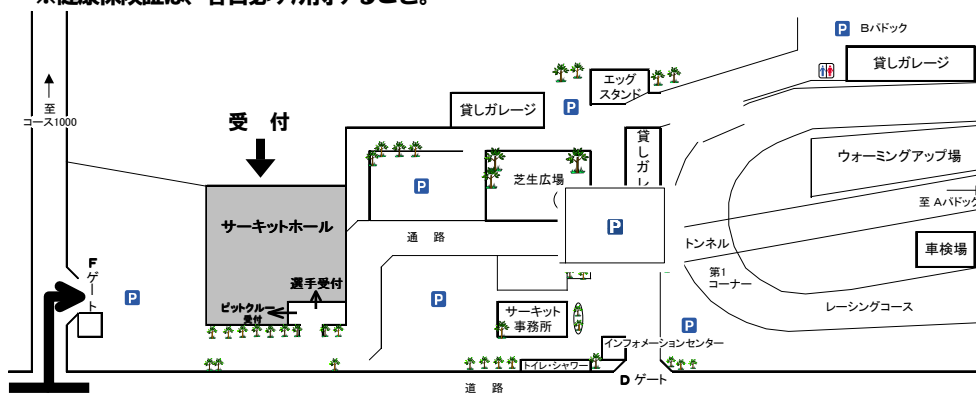


2018年 7月 20日

主催：一般財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

### 1. ライダー受付 (筑波サーキットホール)

- 提示物：①2018MF J競技ライセンス (エンジョイ会員含む) ※提示できない場合には出場できません。  
②参加受理書 ③車両仕様書・装備仕様書 (記入してから受付にお持ちください) ④チーム主張用紙  
※健康保険証は、各自必ず所持すること。



### 2. ピットクルー受付

- ピットクルー受付はライダー受付と同じ時間帯に行います。2018MF Jピットクルーライセンスもしくはご本人であることがわかる物 (MF Jライセンスのない方をエントリー時に登録した場合) をご持参下さい。  
※ピットクルー受付にて受付済みのスタンプが押されたバスのみが有効となります。
- ピットクルーのバスは受理書に同封されています。ピットクルー受付を済ませていなかったり、ピットクルーとして登録されていない人がバスを使用するなど、不正が発覚した場合は、次回以降大会に参加できなくなります。
- 登録したピットクルーを変更する場合、1名につき1,000円の変更料を添えて必ず受付時に申告してください。
- 当日のピットクルーの追加はできません。
- 事前販売したパドックバスではピットロード、スターティンググリッドへの入場ができませんのでご注意ください。

### 3. ライダースミーティング (サーキットホール)

全てのライダーおよび参加代表者を対象に、サーキットホールにてライダースミーティングを行います。皆さんが安全に走るための重要事項の説明を行いますので8月4日(土)もしくはレース当日のどちらか必ず出席してください。尚、出欠の確認を行ない、欠席した場合にはペナルティの対象となりますので十分にご注意ください。

※サーキットホールへお集まりの際は、座布団・スリッパの持参をお勧めします。

### 4. ライダー腕章

- ライダー受付時に腕章を配布します。走行時には必ず左右の上腕部に着用してください。
- 腕章の色分けは下記の通りとします。ライダー腕章は、色によって個人を識別するものです。走行順とは関係ございません。したがってエントリー時に登録した順番の色を装着してください。  
第1ライダー:赤色/第2ライダー:黄色/第3ライダー:緑色/第4ライダー:青色/第5ライダー:白色/第6ライダー:ピンク色

### 5. 公式車両検査

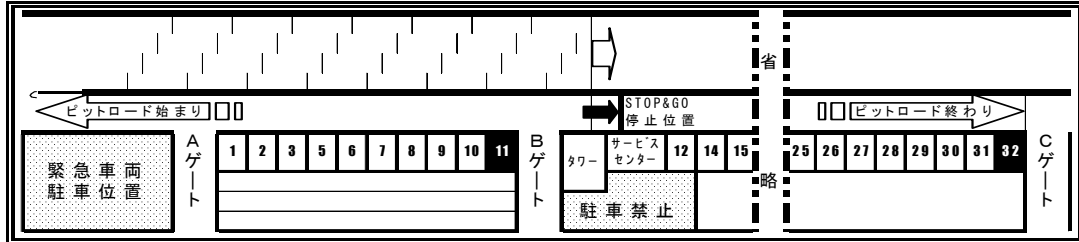
- 場所：Aパドック内車検場
- 時間：タイムスケジュール参照 (車両と装備は別々に検査を受けることができます)  
※当日は混雑が予想されます。なるべく前日に検査を済ませましょう。  
※装備の点検には時間を要しますので、必ず2名以上で装備を持参しスムーズな行動をお願いします。
- 提示物：①車両 (トランスポンダーを取り付けた状態で持ち込むこと) ②車両仕様書・装備仕様書 (両方受付印済の物) ③燃料給油装置 ④消火器  
⑤ヘルメット・ヘルメットリムーバー・レーシングスーツ・グローブ・ブーツ・脊柱プロテクション・胸部プロテクション  
⑥その他 レース中に使用予定の装備 ※レーシングスーツの外側に装着する飲料補給装置は使用できません。  
※トランスポンダー及び取付けホルダーの破損、紛失については、実費をお支払い頂きます。本体：50,000円(税込)/ホルダー：1,000円(税込)
- 車検場には必ずアンダーカウルを外して車両を持ち込み、また、アンダーカウルも持参してください。
- 車検合格時の内容 (ヘルメット等の装備を含) から変更のある場合、必ずその内容を車検長に申告し、再度車検を受けてください。
- 競技中、音量に疑いがあると判断された車両に対して随時音量測定を実施することがあります。
- 車載カメラの搭載を希望する場合には、車両仕様書の申請欄に署名し、事務局確認印を得ること (2台目以降のカメラ取り付けは有料)。  
また、カメラを搭載した状態で車検を受けること。カメラはカウル内に収めるなどし脱落防止に努めること。走行中に脱落した場合に罰則 (罰金を含む) を科す場合がある。

## 6. ピットの使用

- (1) 指定ピットの変更を希望する場合、当該者間で了解の上、変更届を公式練習終了時までには大会事務局まで提出してください。
- (2) 11・32番ピットはオフィシャルの待機場所のため、使用することができません。
- (3) 多量の電気を必要とする場合は、各チームで発電機をご用意ください。
- (4) ピットには、必ず消火器（薬剤容量1.8kg以上）を用意してください。
- (5) ガソリンの保管・運搬等には、必ず金属製携行缶を使用してください。※ガソリンの扱い（携行缶含む）には十分ご注意ください。

## 7. コースイン・コースアウト

- (1) 練習走行・グリッド整列の場合のコースインはBゲート（コントロールタワー横）より行います。
- (2) 練習走行のコースアウトはAゲート（1番ピット脇）より行います。
- (3) 決勝レースのコースアウトはCゲート（32番ピット脇）より行います。



## 8. 公式シグナル

- (1) ライダーは提示される公式シグナルを確認する義務があります。走行中、オフィシャルが公式シグナルを示した場合、各ライダーはそれに従わなくてはなりません。公式シグナルを無視した場合には重大な罰則が科せられる場合があります。
- (2) レース中の公式シグナルは、MF Jロードレース競技規則を適用します。
- (3) 旗のかわりにライトを使う場合があります。黄色燈の点灯・点滅は黄旗、赤色燈は赤旗と同意味です。
- (4) ピットロード先端（ピット前）のシグナルはピットロード専用です。緑はコースイン可、赤はコースイン不可を意味し、無燈の場合は緑燈と同様に扱う、また、練習走行およびレース中は常にピットレーン出口で青ライトが点滅される。
- (5) タイムが著しく遅いライダーおよび危険な走行をするライダーに対して、黒旗を提示してピットインさせる場合があります。

## 9. 練習走行・グリッド決定方法

- (1) 公式予選はありません。但し、車両とトランスポンダーのチェックを行いますので朝の練習走行には必ず参加出走し、チームの確認作業を行うようにしてください。
- (2) 決勝のスターティンググリッドは抽選にて決定し、抽選方法はライダー受付順の「くじ引き」とします。
- (3) 練習走行の開始はスタート練習を兼ねてル・マン式で行います。スタートライダーの方は必ず11項を熟知しておいてください。
- (4) 練習走行会中にベースカーが介入しフルコースコーションの練習を行います。必ず19項を熟知しておいてください。

## 10. 決勝スタート前チェック

決勝スタート前チェックの時間内に連絡のないチームは、オフィシャルの判断によりリタイヤとみなされます。

## 11. スタート方法

- (1) 決勝レースのグリッド数は最大80台、スタート方式はル・マン式スタートとします。
- (2) スタートはスタッガード（時間差）スタートとし、スタート時差は結果に考慮されませんのでご了承ください。  
**第1グループ第2グループの台数振分けは、ブルテンもしくは公式通知にて発行されます。**
- (3) スタート手順
  - ①ピットロードよりコースインし、ゆっくりコースをまわってホームストレート上各自指定のグリッドに整列してください。
  - ②グリッド上でタイヤウォーマーの使用およびタイヤウォーマー用にジェネレーターの使用が認められる。マシン1台につきハンディタイプのジェネレーター1台迄可能とする。ジェネレーターは、ピットロード・コンクリートウォール際に置いて使用すること。また、水温上昇防止及び体調管理（熱中症予防）を目的とした、扇風機（サーキュレーター）の持込も可能とする。但し、スタート進行遅延の原因となる場合は、規則を変更する場合も有る。
  - ③整列した車両は、指示があるまでエンジンを始動することができません。
  - ④選手紹介終了後にエンジンスタート、そのままスタートまでエンジンは始動したままとります。
  - ⑤スタート3分前、全ての作業・調整（タイヤウォーマー取り外し含む）を終了しスタートライダーは反対側（メインスタンド側）に移動してください。スタートの合図があるまで自分の車両の方に移動することはできません。
  - ⑥控えのライダー1名はヘルメットおよび長袖長ズボン（サンダル履禁止）を着用し、車両の後尾を支え待機となります。又スタートライダーがエアバックベストを着用する場合、エアバックハーネス取付け要員を1名加えることができます。（ヘルメット、長袖長ズボン着用）他のチーム員はこの時点でピット内に退避していること。尚、この時までには車両の整備を行うメカニックの人数に制限はありません。
  - ⑦フラッグタワーより日章旗の合図があったとき、スタートライダーはコースを横断して自分の車両に駆け寄りスタートとなります。
  - ⑧スタートでエンジンストールまたは正常にスタートができない場合、全車スタートし安全が確認された時点でフラッグタワーからグリーンフラッグを提示、その後控えのライダーの補助による押しがけスタートが可能となります。
  - ⑨エンジンが始動しない場合、フラッグタワー下センターゲートもしくはコンクリートウォール最前方の安全地帯までライダーが車両を移動させ、メカニックの作業を得てスタートすることができます。移動する場所はオフィシャルの指示に従ってください。
- (4) スタートライダーの指定はございません。

## 12. タイヤ

- (1) 一般市販されていて通常のルートで購入できる一般公道用オンロードタイヤのみ使用可能です。但し、摩耗限度を超えたものおよびスリックタイヤにグルーピング・カッティングを施したものは使用禁止です。
- (2) タイヤの使用本数制限はありません。
- (3) 12インチタイヤを使用する場合は、競技専用タイヤの使用が義務付けられます（ウェット時も同様となります）。

### 13. ラップ数記録用紙

周回数を確認・照合のため、各チームにて**ラップ数記録用紙**を記入し提出していただきます。用紙はライダー受付時に配布します。

### 14. ピットロードの速度制限

- (1) ピットロード走行中の違反は重大な事故につながります。ピットインの際は周りに十分に気を配り、スピードを落として常に停止できる状態で走行してください。尚、ピットロードの制限スピードは**40km/h以下**とし、違反した場合には罰則が科せられます。
- (2) ピットロード速度制限区間はコンクリートウォール設置区間とし、スピードの測定は光電管測定器・移動式スピードガンで行います。

### 15. ピット作業・ピットサイン

- (1) 修理および燃料補給の作業人数は、ピットクルー3名とライダー2名の**計5名**までです。
- (2) 当該車両がピットインした時のみ、ピットクルーは自己のピット前の停止区域に出て作業することができます。ピット作業の場合を除いて停車区域に出る事と、部品や工具を停車区域に置いておくことは禁止です。
- (3) ピットクルーの行動範囲には制限があり、サインマンおよびピットインした当該車両のメカニック以外はピットロード上に出ないでください。従わない場合にはその当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられます。
- (4) 走行中のライダーに対しピットサインを送ることができますが、無線機等の使用は禁止です。
- (5) ピットサインを送るピットクルーは1チーム2名までとし、イエローラインまで出てサインを送ることができます。

### 16. ライダー交代

- (1) 登録されたライダーは、必ず1回以上走行しなければなりません。但し、負傷などやむをえない場合この限りではありませんが、必ず**事務局に届け出なければなりません。**
- (2) ライダー交代は自己ピットでのみ可能、必ずエンジンを停止させて行わなければなりません。
- (3) **マシントラブルにてコースアウトし、パドックに戻った後でレースに復帰する際(21項)、ライダー交代する場合にはその旨をCゲートのオフィシャルに申告しなければなりません。**

### 17. レース中における燃料補給

- (1) 使用する燃料の量についての制限はありません。
- (2) 給油装置は、車検に合格したものを使用してください。
- (3) 燃料補給方法は、金属製タンクもしくは金属製携行缶からの重力落下式に限りです。
- (4) 給油のために簡単に着脱できる取り替えタンクを使用することは禁止です。
- (5) 給油装置はやぐら等を組んで高所に設置するなど、その他の方法でピットエリアに固定してはいけません。
- (6) 給油装置のパイプエンドの口径は、内径25mm以内に制限されます。
- (7) 燃料補給時には、車両は**ジャッキ・スタンド等**で完全に支えられていなくてはなりません。
- (8) 燃料補給中はエンジンを停止し、他のいかなる作業も行ってははいけません。**ライダーが乗車した状態での給油も禁止です。**
- (9) 燃料補給中ピットクルー1名は必ず消火器(消火器については燃料補給を行うピットクルーの人数に含まない)を持って待機していなければなりません。また、こぼれた燃料、オイル等は必ず各チームで処理してください。

### 18. レース中の車両修理

- (1) ピットインした車両は、自己の作業エリアにおいてピットに準備してある部品、工具等による修理、調整、部品交換などができます。
- (2) エアーツール・電動ツールなどの使用は禁止です。
- (3) フレーム本体、クランクケース本体、ギヤボックスのキャスト部品以外の故障部品は交換することが可能です。**サイレンサーを交換することは可能ですが、その際は車検長に申告し許可を得なくてはなりません。交換前のサイレンサーは車検場保管となり音量を測定する場合があります。**
- (4) コース・グリーン上での車両の修理は、応急処置を除き一切禁止です。
- (5) レース中の車両は、いかなる場合にも他から援助を受けて押し出したり走行したりしてはなりません。ただし、保安の目的でオフィシャルが車両を移動したりする場合、および自己のピットを通り越した停車区域内の車両を当該車両のライダー、ピットクルーが押し戻す場合(この場合、車両の向きは変えずにバックのまま押し戻してください)、コースアウトして戻る場合はこの限りではありません。

### 19. フルコースコーション

- (1) フルコースコーションとは、事故発生時にライダー又はオフィシャルが危険な状況にはあるがレースを中断するほどではないと競技監督が判断した場合、セーフティーカーがスロー走行で先導しながらレースを一時中立化している間に事故処理を行う方法です。
- (2) フルコースコーションが決定したら、直ちに各ポストにおいて黄旗振動と「SC」と書かれたボード(SCボード)が提示され、セーフティーカーの介入を告知します。その後イエローの回転灯を点灯したセーフティーカーが先頭のライダーの位置に関係無くピットロードからコースインします。
- (3) 全ての車両はセーフティーカーを先頭に一列に整列してください。この時、ライダーの追い越しは厳禁とされ、ライダー間の距離は10m(車両5台分程度)以内までとします。セーフティーカーの介入は原則的に1台ですが、2台目が介入する場合があります。
- (4) **トップのライダーをペースカーの直後に配置させる、いわゆる「頭出し」は行いません。**セーフティーカー介入中の周回は、周回数としてカウントされます。
- (5) フルコースコーションの間にもピットイン・ピットアウトすることができます。ピットアウトできるのは、ピットレーン出口にあるグリーンライトが点灯されている間のみとなり、セーフティーカーに先導された最後尾のマシンがピットレーンを通過後約10秒間のみグリーンライトが点灯します。それ以降はレッドライトによりピット出口は閉鎖されピットアウトできなかったライダーは、次の周まで待たなければなりません。
- (6) レース再開が決定したら、セーフティーカーはイエローの回転灯を消灯し、その週の終了時点でピットに入ります。
- (7) セーフティーカーが最終コーナー立ち上がり付近のイエローラインをカットしてピットロードに入り、ライダーがコントロールラインに近づいてきた時点で、フラッグタワーでグリーンフラッグが振動表示され、同時に全ポストの黄旗振動とSCボードは下げられます。各自がコントロールラインを通過した時点でフルコースコーションは解除され、競技再開となります。ただしコントロールラインを通過するまで、追い越しは厳禁です。
- (8) フルコースコーション中でも競技時間および周回はカウントされます。

## 20. スロー走行車両およびコース上での車両の押し歩きについて

- (1) ポストの前方にスロー走行車両が存在する場合、白と黒の斜め2分割旗を表示します。
- (2) コース上でライダーがマシンを押している場合、黄色地に黒文字で「PUSH」と書かれたボードを提示します。  
尚、車両を押し歩きする際、オフィシャルの指示なく進行方向とは逆への移動やコース横断することは禁止されます。押し歩きするライダーはコースサイドのウレタン際に沿って、後方に注意しながら車両を移動すること。



## 21. マシントラブル時のコースアウトおよびレースへの復帰について

- (1) マシントラブルでピットまで走行して戻ることが困難な場合、指定された場所からコースアウトすることができます。
- (2) コースアウトした後は、ピットクルーによる人力の補助により自己のピットに戻ることが可能です。
- (3) 但し、そのコースアウトした当該周は無効となります。
- (4) コースアウトできるのは以下の6箇所とします。オフィシャルの指示に従ってコースアウトしてください。  
①第1ヘアピン左側(Bパドックメディカルセンター付近) ②第1ヘアピン手前S字コーナー右側(ドライバーズサロン横)  
③ダンロップコーナー先左側 ④5番ポスト脇連絡通路 ⑤第2ヘアピン立ち上がり左側 ⑥ホームストレートエンド左側
- (5) **パドックインした車両は、マシンチェックエリアにて必ず車検員によるトラブル状況のチェックを受けなければなりません。チェックが済んだ時点でパドックでの修理が可能となります。マシンチェックエリアは、A・Cゲート付近に設置します。**
- (6) **車両がコースに復帰する場合はCゲートからとし、車検員によるチェックの上、コースインしてください。**

## 22. ペナルティ

- (1) **ジャンプスタートをした場合は、ライドスルーペナルティが科されます。**
- (2) ショートカットおよびピットロード先のホワイトラインカットを行った場合には、その当該周無効のペナルティが科せられます。
- (3) フルコースコーション中にレッカー車で回収された車両に対して、当該周無効のペナルティが科されます。
- (4) **ペナルティとしてピットストップが科される場合、回数ごとに停止時間が加算されます。2回目は1分、3回目は3分、4回目は5分、以降5分ずつ加算されます。尚、ペナルティの度合いによっては失格となる場合や、停止時間が異なる場合が有ります。**  
※ペナルティストップの指示を受け3周以内にピットインせずペナルティを実行しない場合は、大会審査委員会の判断により、失格を含む厳罰が科せられます。
- (5) **レース終了までにペナルティが消化できない場合、ペナルティ累積回数分の周回数(ペナルティが1回目の場合は1周、2回目は2周...)が減算されます。但し、ペナルティの度合いにより厳罰となる場合が有ります。**

## 23. 競技の終了および順位の設定

- (1) 規定の時間を完了した時点で、トップのライダーにフラッグタワーよりチェッカーフラッグが振られます。
- (2) 正式なレースの終了は、チェッカーフラッグによりトップのライダーがゴールインした後2分間が経過した時とします。
- (3) 天候その他の理由により、定められた時間を減算しレースを終了する場合があります。
- (4) 途中でレースが中断された場合でも、最初の正式なレーススタートからレース設定時間を越えないものとします。
- (5) チェッカーフラッグが提示された時点で、ピットインしていた車両のコースインは禁止されます。
- (6) 順位は**周回数の多い順**、同一周回数の場合はコントロールラインの通過順(ピットレーン含む)にて決定します。複数のヒートレースの場合も同様となり、各ヒートの周回数を合算し、周回数の多い順に決定される。同一周回数の場合は、最終ヒートのコントロールライン通過順となる。

## 24. 暫定表彰式および賞典

- (1) レース終了後、OPEN100:1~6位、ST125:1~3位、ST100:1~3位、HRC GROM:1位のチームを対象にメインスタンド前コース上にて暫定表彰式を行います。
- (2) **チェッカーを受けたマシンは、ペースカーの先導にてコースをゆっくり1周し、グランドスタンド前に整列停車してください。**
- (3) **ノンアルコールシャンペンを使用いたしますが、少量のアルコール(0.49%)が含まれておりますので、未成年およびレース後に運転される方などはお飲みにならないで下さい。**
- (4) OPEN100:1~5位、ST125:1・2位、ST100:1・2位、HRC GROM:1位のチームに対し、正賞の楯および副賞を決勝正式結果発表後にサービスセンターにて授与します。MF Jライセンス等の身分を証明するものをご持参ください。

## 25. 車両保管・再車検について

レース終了後に、OPEN100:1~5位、ST125:1・2位、ST100:1・2位、HRC GROM:1位までの車両保管・再車検を行います。暫定表彰式後、オフィシャルの指示に従ってマシンをAパドック内車検場まで移動してください。尚、マシン返却の際、盗難防止の為にライダーのMF Jライセンスまたは運転免許証等の身分証明が可能なものを必ず持参するようにしてください。

## 26. 違反行為に対する罰則について

- (1) MF J国内競技規則に準ずる。
- (2) **ルール・マナー違反に対しては、そのライダー、参加代表者およびそのピットクルーに罰則が科される場合があります。**
- (3) オイルをコース上に撒いた当該ライダーおよびチームに対して罰則を科す場合があります。十分に整備しておいてください。
- (4) オフィシャル・大会関係者への暴力的な言動には、その軽重により、MF J国内競技規則第4章に基づき罰則が科されます。

## 27. 医療施設の利用義務

- (1) ケガをした場合には必ず最初に医務室で診断を受けてください。**医務室に診断記録がないと保険がおりない場合があります。**
- (2) サーキット指定病院 : 八千代病院 〒300-3551 茨城県結城郡八千代町栗山238 TEL:0296-48-1181

**本通知に記載されていない事項は、MF J国内競技規則、本大会特別規則(虎の巻)に準じます。**